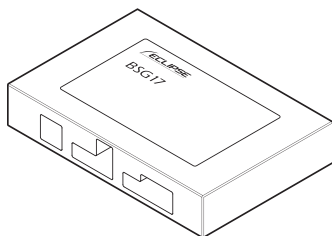


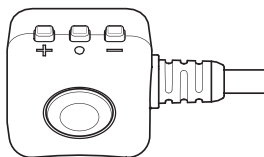
BSG17

カメラ機能拡張BOX



BSGT17

カメラ機能拡張BOX用汎用キット



取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要ときにすぐご覧になれるよう大切に保管してください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容。

操作に関する情報を以下の表示をしています。

チェック

準備や条件など、操作する前に知っておいていただきたい内容。

ワンポイント

機能の仕様やアドバイスなど、知っておいていただきたい内容。

目次

安全に正しくお使いいただくために	2
本機について	4
カメラ機能拡張BOXについて	4
操作方法について	5
各部の名称とはたらき	6
表示について	8
機能アイコンについて	8
進行方向予測線機能について	9
障害物検知機能表示について	10
視点変換機能について	12
画面と実際の路面との誤差について	13
各種設定	15
各種設定画面を表示する	15
初期設定をする	16
カメラ表示を設定する	18
固定ガイド線を調整する	19
ガイド線表示を設定する	20
障害物検知を設定する	20
Q&A	21
仕様	22
アフターサービスについて	23
製品の購入や組み合わせに関するお問い合わせ	23
修理に関するお問い合わせ	24
メールでのお問い合わせ	24

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

■安全にお使いいただくために

安全運転を行う責任は運転者にあります。

本機を過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

本機による支援の範囲には限りがあります。

本機が正常に機能していても、周囲の状況と本機が検知している状況が異なる場合があります。

従って注意義務・危険性の判断・安全の確保は運転者が行う必要があります。なお、誤った使い方をしたり、操作慣れなどで注意を怠ると、思わぬ危険を招くことがあります。

■本機の支援内容

本機の支援には限界があるため、次の点に注意してください。

本機を過信すると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●運転者が見る、聞く過程での支援内容

本機はバックアイカメラ映像により機能を拡張するものであり、わき見やぼんやり運転を許容するシステムでも、視界不良を補助するシステムでもありません。本機による表示は、実際に見えるものと違う場合があります。また、状況により検知音がならない場合がありますので、運転手自らが周囲の状況に注意を払う必要があります。

●運転者が判断、操作する過程での支援内容

本機は人や他の車両などの障害物との接触を防止する機能はありません。

このため、危険性があるかどうかなど運転者は自ら安全の判断をする必要があります。

■本機の誤動作を防ぐために

進行方向予測線機能、障害物検知機能を使用しない時はON／OFF設定で不要な機能をOFFにしてください。

●安全のため、運転者は走行中に操作をしないでください

走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車両を停車させてから操作をしてください。

なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

走行するとき、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に適した運転を心がけてください。

●本機はDC12V⊖アース車専用です

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。

●モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。

必ず目視による安全確認をしながら後退してください

バックアイカメラの死角になっている人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

●ゆっくりした速度で後退運転してください

バックアイカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、速度を上げての後退は人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

⚠ 警告

● **バックアイカメラ取り付けネジはときどき点検し、ゆるみがある場合は、増し締めをしてください**

次のような思わぬ事故の原因になります。

- ・ 外れて落下し、歩行者などに接触する
- ・ 取り付け角度が変わり、機能が正常に動作しない

● **本機を分解したり、改造しないでください**

事故、火災、感電の原因となります。

● **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください**

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

● **ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

● **機器内部に水や異物を入れないでください**

発煙、発火、感電の原因となります。

● **故障や異常の状態のまま使用しないでください**

次のような異常が発生した場合、ただちに使用を中止し、販売店に相談してください。

- ・ 音が出ない
- ・ 水がかかった
- ・ 煙が出る
- ・ 変な匂いがする

事故、火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

● **本機の取り付け場所を変更するときは、安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください**

取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

誤った取り扱いをすると、火災や故障の原因となります。

● **本機を車載用として以外は使用しないでください**

感電や怪我の原因となることがあります。

● **バックアイカメラを水に浸したり、自動洗車機（高圧水）による洗車は避けてください**

バックアイカメラ内部に水が入ったり、また、バックアイカメラが脱落したりして、思わぬ事故の原因となることがあります。

● **バックアイカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた映像です。また、車種により、見え方が異なります。十分にご注意ください。**

本機について

カメラ機能拡張BOXについて

お手持ちのナビゲーションに、別売のバックアイカメラと本機を接続することにより、次の3つの機能を追加することができます。

接続するナビゲーションによっては、別売の汎用キット「BSGT17」が必要になる場合があります。適合情報については、ECLIPSE ホームページをご覧ください。

「お客様サポート」→「オプション品適合情報」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)

<進行方向予測線機能>

後退中に車両の進む方向の予測線を表示します。

<障害物検知機能>

車両後方にある静止物や移動物を検知した場合に、運転者にお知らせします。

<視点変換機能>

バックアイカメラ映像の視点を仮想的に切り替えることができます。

⚠ 警告

- 天候、路面の状況、周辺の明るさ、障害物、バックアイカメラの取り付け状態によっては、検知できない、または進行方向予測線が誤った表示をすることがあります。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 運転中は、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。
- 障害物検知機能の検知音、検知表示によるお知らせは遅れることがあります。安全確認は障害物検知機能だけに頼らず目視などで行ってください。
- 天候や路面の状況が良好な場合でも、模様のない壁など特徴のない障害物は検知できないため、必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- バックアイカメラに水滴や泥などが付着し、バックアイカメラに映る映像が不鮮明な場合は、障害物を検知できなかったり、進行方向予測線が誤った表示をすることがあります。
- 当社が指定するバックアイカメラ以外を接続した場合、各機能は正常に動作しませんので、使用しないでください。
- 本機の機能は目視の特性に近似しているため、目視でもわかりにくいような環境では、使用しないでください。
- 悪路などで車両が上下左右に大きく揺れた場合、検知できない場合や誤った検知をすることがあります。

⚠ 注意

- 固定ガイド線が、駐車枠など車両を囲む基準線に比べ、明らかにズれている場合は、再度初期設定を行ってください。(→P.16)

📌 ワンポイント

- タイヤ／ホイール／サスペンションなどを交換・改造した場合、バックアイカメラの高さが変わり、各機能に誤差が生じることがありますので、再度初期設定を行ってください。(→P.16)
- 他社やECLIPSE製ナビゲーションのガイド線表示機能は、OFFにしておいてください。
- バックアイカメラ取り付け場所であるラゲージドアなどが確実に閉まっていない状態で使用すると、各機能に誤差が生じることがあります。

操作方法について

ご購入いただいた製品の組み合わせにより、操作方法が異なります。
(表示される画面は共通です。)

<ECLIPSE製ナビゲーションと接続する場合> ※ 別売のBSGT17が不要な場合

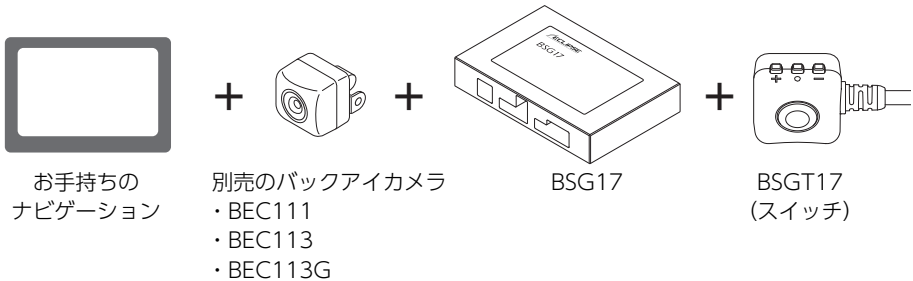
操作はナビゲーションで行います。ナビゲーションの画面を直接タッチして操作してください。



<ECLIPSE製ナビゲーションと接続する場合> ※ 別売のBSGT17が必要な場合

<他社製ナビゲーションと接続する場合>

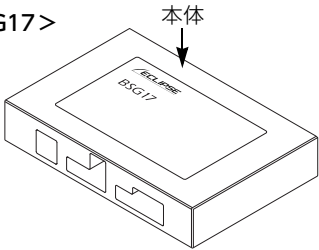
操作はBSGT17に同梱のスイッチで行います。



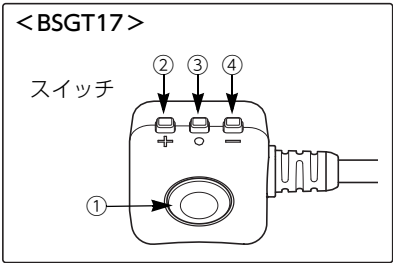
本書では、別売のBSGT17が不要な場合は「タッチ操作」、別売のBSGT17が必要な場合は「スイッチ操作」と記載します。

各部の名称とはたらき

<BSG17>



<BSGT17>



番号	スイッチ名	機能
①	メインスイッチ	通常モード/俯瞰モードを切り替えます。(→P.12)
②	選択スイッチ <+>	各種設定 (→P.15) のときに使用します。 押すごとに次の設定項目を選択します。
③	実行スイッチ <●>	各種設定画面の表示や選択した設定項目を実行するときに押します。 (→P.15)
④	選択スイッチ <->	各種設定 (→P.15) のときに使用します。 押すごとに前の設定項目を選択します。

ワンポイント

● タッチ操作の場合は、ナビゲーションの取扱説明書も合わせて、ご覧ください。

本書での記載について

本書はタッチ操作の場合とスイッチ操作の場合の共通取扱説明書となっております。

ご購入の製品により操作が異なります。

次のような手順の場合は、以下のように操作してください。

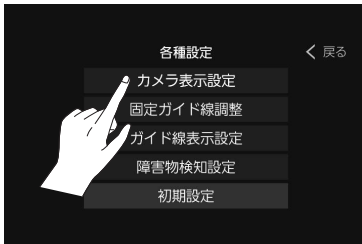
<本書での記載例>

1 **カメラ表示設定** を選択。

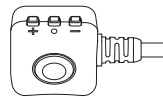
2 **< / >** で、バックアイカメラ表示を選択。

<タッチ操作の場合>

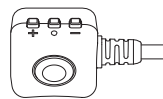
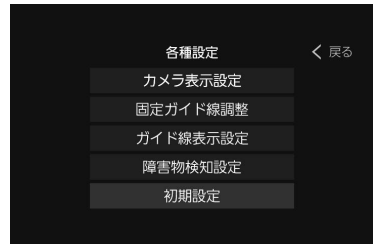
ナビゲーションの画面を直接タッチ。



<スイッチ操作の場合>



選択スイッチ<+>、
<->を押して
カメラ表示設定 を
選択している状態で
実行スイッチ<●>
を押す。



選択スイッチ<+>、
<->を押して **< / >**
を選択している状態
で実行スイッチ<●>を
押し、バックアイカメラ
表示を選択する。



表示について

機能アイコンについて

全機能（進行方向予測線、障害物検知、視点変換）が動作できるときに画面右上部に緑色の丸印が表示されます。

警告

- 機能アイコンが消えている状態では使用しないでください。

チェック

- 機能アイコンが表示されない場合はQ&Aをご覧ください。（→P.21）



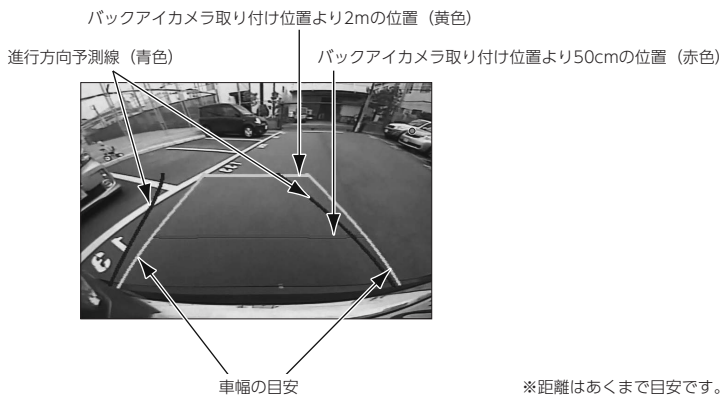
機能アイコン表示位置



進行方向予測線機能について

バックギアにシフトし、後退すると表示します。

車両の動きを予測し、進行方向予測線を青線で表示します。車両停止後、約5秒後に表示が消えます。



⚠ 注意

- 車両が動かないと進行方向予測線は表示されません。
- 車両後退時の速度が速い場合（約4km/h以上）、表示が遅れたり、誤った表示をする場合があります。
- 急発進、急停車、急旋回時は、進行方向予測線に誤差が生じる場合があります。
- 停車中であっても、映像の変化を検出すると誤った進行方向予測線が表示されることがあります。

障害物検知機能表示について

バックギアにシフトすると、車両後方にある静止物や移動物を検知した場合に、運転者にお知らせします。

障害物を検知した場合に、対象物に枠を付けて表示します。枠は検知した距離に応じて色が変わります。

※ 距離はあくまで目安です。

● 緑色：バックアイカメラ取り付け位置からの距離 2m～10m

※ 移動物を検知した場合に表示します。

● 赤色：バックアイカメラ取り付け位置からの距離 0m～2m

※ 静止物、または移動物を検知した場合に表示します。

※ ただし、静止物は進行方向の距離および範囲に対して検知します。

バックアイカメラ取り付け位置から 2m 以内で検知した場合は、画面上部に赤色のアラート表示が点滅し、検知音が鳴ります。



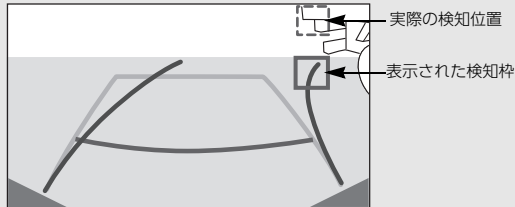
←アラート表示

警告

- 速度の速い移動物やバックアイカメラのすぐ近くを通る移動物は検知しない場合があります。

△ 注意

- 実際とは異なる位置に検知枠が表示される場合があります。
例えば、トラックの荷台のように張り出した立体物などを検知したとき、地面より浮いているものに対しては、地面に検知枠が表示される場合があります。



- 縁石や車止めなど低いものは、検知しません。
- 停車中は静止物を検知できません。
- 急発進、急停車、急旋回時は誤った検知をする場合があります。
- 路面の状態（模様など）によっては、障害物が無い場合でも、誤った検知をする場合があります。
- 範囲外の物も検知する場合があります。
- 車両後退時の速度が速い場合（約4km/h以上）、検知が遅れたり、誤った検知をする場合があります。
- 他社ナビゲーションへ装着した場合、バックアイカメラ映像の表示仕様（表示範囲、黒背景など）により、アラート表示が表示できない場合があります。
- 一定の場所で動作（回転、動画映像、上下運動など）する静止物については、移動物として検知する場合があります。

視点変換機能について

ディスプレイに表示する映像を、上から見た俯瞰モードに切り替えることができます。



◆ 通常モード



◆ 俯瞰モード

視点を切り替える

■ タッチ操作の場合

操作については、ナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

■ スイッチ操作の場合

1 バックギアにシフトする。

2 バックアイカメラ映像を表示中にメインスイッチを押す。

- 押すごとに通常モードと俯瞰モードが切り替わります。

⚠ 注意

- 人物や障害物など高さのある立体物が、実際と異なって表示される場合があります。

📌 ワンポイント

- 俯瞰モードでシフトレバーをDにシフトし、再度バックギアにシフトすると、通常モードを表示します。再度、俯瞰モードを使用する場合は、もう一度 **視点切替** を選択してください。

画面と実際の路面との誤差について

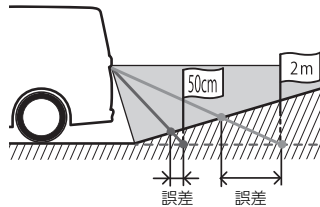
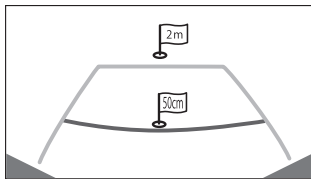
車両後方の路面に傾斜があったり、立体物が近くにある場合、距離・進行方向予測線に誤差が生じる場合があります。

車両後方の路面に傾斜がある場合

固定ガイド線は、平らな路面に対しての距離の目安を示します。
そのため車両後方に傾斜や車両に傾きがある場合は、路面上の距離に誤差が生じます。

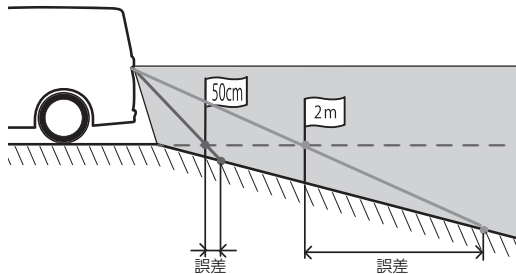
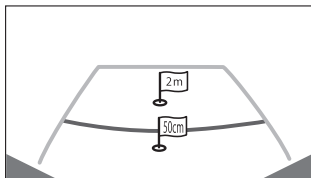
<急な上り坂が車両後方にある場合>

実際の距離より手前に固定ガイド線が表示されます。
そのため、上り坂にある障害物が実際より遠い距離と認識されます。



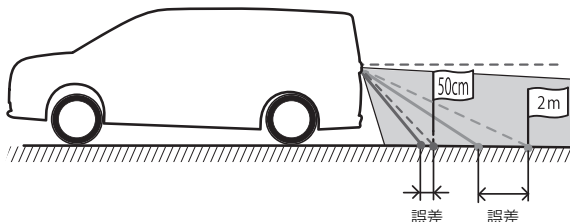
<急な下り坂が車両後方にある場合>

実際の距離より後ろに固定ガイド線が表示されます。
そのため、下り坂にある障害物が実際より近い距離と認識されます。



<車両が傾いている場合>

乗車人数、積載量などにより車両が傾いているときは、実際の距離と誤差が生じます。



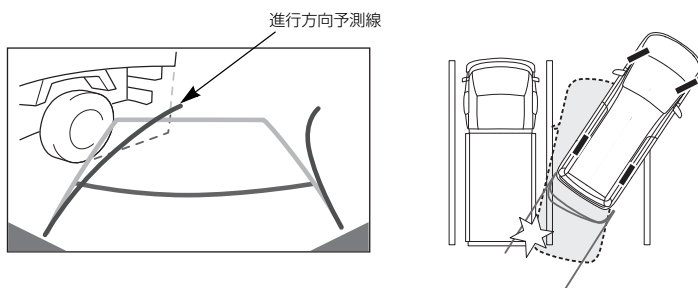
立体物が近くにあるとき

進行方向予測線、固定ガイド線は路面に対して表示されるため、立体物の位置を判断することができません。

張り出しのある立体物（トラックの荷台など）が近くにあるときは、次のことに注意してください。

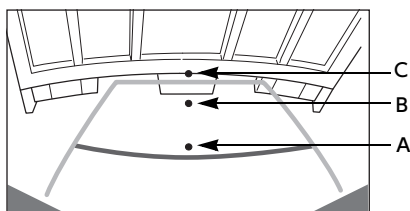
<進行方向予測線>

画面では進行方向予測線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているため、ぶつかる場合があります。後方や周囲の安全を直接確認してください。

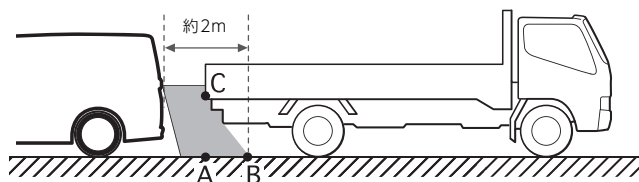


<固定ガイド線>

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはAとCより遠い距離にあります。そのため画面ではBの位置にトラックが駐車しているように見えても、Aの位置まで後退するとぶつかります。後方や周囲の安全を直接確認してください。



A、B、Cの位置



各種設定

各種設定画面を表示する

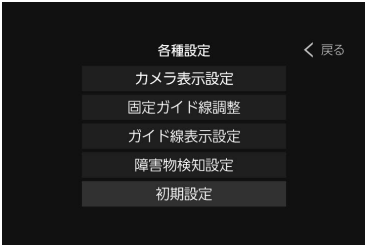
■ タッチ操作の場合

各種設定画面の表示方法は、ナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

■ スイッチ操作の場合

1 <●>（実行スイッチ）を5秒以上押す。

- スイッチ操作については、P.6をご覧ください。
- 次の項目の設定を変更できます。



項目	機能	ページ
カメラ表示設定	通常モードでのバックアイカメラの映り方を設定	18
固定ガイド線調整	固定ガイド線の幅を調整	19
ガイド線表示設定	固定ガイド線および進行方向予測線表示のON/OFFを設定	20
障害物検知設定	障害物検知機能のON/OFFおよび検知音の音量を設定	20
初期設定	初期設定をする	16

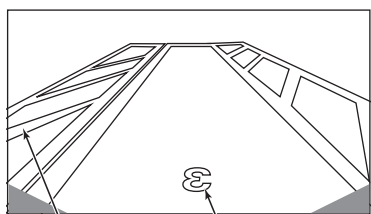
📌 ワンポイント

- 初期設定や各種設定を繰り返し行なっても完了しない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 初期設定完了後、安全な場所で各種機能が動作していることをご確認ください。

初期設定をする

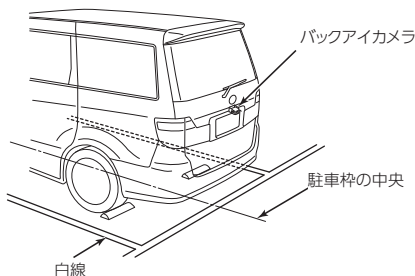
① チェック

- 初期設定は、駐車枠があり、路面に傾斜のない場所で実施してください。
- 次のような場合、設定に失敗する場合があります。
 - ・ 駐車枠が白でない。
 - ・ 駐車枠がかすれている。(一部消えている)
 - ・ 駐車枠以外の線が混ざっている。



ななめ線 駐車枠内の絵や文字など

- 1 駐車枠（白線）の中央かつ平行に車両を止める。



- 駐車枠線内におおよそ中央かつ平行に止めれば、初期設定を行うことができます。

- 2 初期設定 を選択。

- 3 メッセージを確認して、OK を選択。

- 4 < / > で、使用しているバックアイカメラを選択。



- 5 OK を選択。

- 6 V / ^ で、バックアイカメラの取り付け位置（高さ）を入力。



- 7 OK を選択。

- 8 V / ^ で、バックアイカメラの取り付け位置（車両中央からの距離）を入力。



9 **OK** を選択。

10 **▽** / **△** で、バックアイカメラの取り付け位置（後輪からの水平距離）を入力。



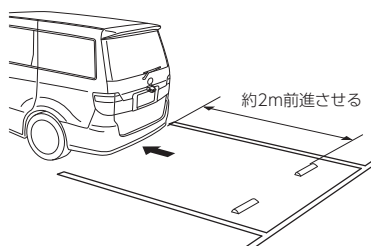
11 **OK** を選択。

12 **▽** / **△** で、車幅を入力。



13 **OK** を選択。

14 車両を約2m前進させる



- 駐車枠線内で移動し、おおよそ元の位置であれば、初期設定を行うことができます。

15 **OK** を選択。

16 メッセージ確認後、バックギアにシフトする。

17 車両を元の位置に後退させる。

- 後退後は、ニュートラル、またはパーキングにシフトして、パーキングブレーキをかけた状態にします。

18 **OK** を選択。

19 バックアイカメラ取付状態確認結果を確認して、**OK** を選択。

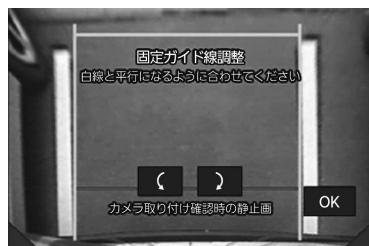
- 「カメラ取付状態が確認できました「OK」を押して、次の設定へ進んでください」のメッセージが表示された場合、次の手順に進んでください。
- 「カメラ取付状態が確認できませんでした「OK」を押して、再調整してください」のメッセージが表示された場合、手順6から再度設定してください。

各種設定

20

〔 / 〕 で、固定ガイド線を調整する。

- 表示された画像を回転させて、駐車枠（白線）と固定ガイド線が並行になるように画像を調整します。



21

OK を選択。

22

〔 < / > 〕 で、バックアイカメラ表示を選択。



- 標準：バックアイカメラ映像をそのまま表示
- ひずみ補正：バックアイカメラ映像のひずみを補正して表示
- 高さ補正：バックアイカメラ映像を仮想的に視点を高くして表示

23

OK を選択。

24

「設定が完了しました」のメッセージが表示されたら、OK を選択。

カメラ表示を設定する

1

カメラ表示設定 を選択。

2

〔 < / > 〕 で、バックアイカメラ表示を選択。



- 標準：バックアイカメラ映像をそのまま表示



- ひずみ補正：バックアイカメラ映像のひずみを補正して表示



- 高さ補正：バックアイカメラ映像を仮想的に視点を高くして表示



3 OK を選択。

固定ガイド線を調整する

1 固定ガイド線調整 を選択。

2 ←| / |→ で、幅を調整する。



3 OK を選択。

ガイド線表示を設定する

- 1 **ガイド線表示設定** を選択。
- 2 固定ガイド線の表示の **<** / **>** で、「ON」/「OFF」を選択。
- 3 進行方向予測線の表示の **<** / **>** で、「ON」/「OFF」を選択。



- 4 **OK** を選択。

障害物検知を設定する

- 1 **障害物検知設定** を選択。
- 2 障害物検知の表示の **<** / **>** で、「ON」/「OFF」を選択。
- 3 検知音の音量設定の **<** / **>** で、音量（「大」/「中」/「小」/「OFF」）を選択。



- 4 **OK** を選択。

Q&A

Q	A
誤った検知をする、または検知されない場合が多い。	初期設定を再度行ってください。(→P.16) それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
進行方向予測線が正しく表示されない。	
進行方向予測線が夜間に正しく表示されないことがある。	天候や路面状態など、周囲の状況によっては適切に表示しない場合があります。
検知音のブザーが聞こえない。	検知音の設定を「大」にする(→P.20)か、ブザーの取り付け場所を変更してください。
検知の感度を変えたい。	検知の感度は変更できません。
夜間の場合や暗がりにある移動物が検知できないことがある。	バックアイカメラ映像での認識が困難な場合は検知ができません。
検知や警告がうまく機能せず、事故を起こしてしまった。補償してもらえないか？	当社では一切の責任を負いかねます。 必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
俯瞰モードへの切替を自動でできないか？	手動のみです。P.12を参照ください。
俯瞰モードでの見える範囲を変更できるか？	表示範囲は変更できません。
俯瞰モードでも障害物を検知するか？	通常モードと同様に検知します。検知枠も表示します。
別売のバックアイカメラ (BEC111、BEC113、BEC113G) 以外のカメラを接続したい。	本機は対象バックアイカメラ用に調整されているため、対象外のカメラでは正常に動作しないので、使用しないでください。
バッテリーを交換した場合、再度初期設定をする必要があるか？	設定値はバッテリーが切られても本機内に保存されています。 初期設定を再度行う必要はありません。
バックアイカメラがルーフスポイラーに取り付けてある。推奨位置よりも高い場合はどういう問題があるか？	推奨位置の範囲外にバックアイカメラが取り付けられている場合、本機の機能は正常に動作しません。推奨位置に収まる範囲にバックアイカメラを取り付け直す必要があります。
停車状態でハンドルを大きく切っても、進行方向予測線が動かない。	バックアイカメラで撮影された映像の中の動きを分析して進行方向を予測するため、静止状態では進行方向予測線は動きません。
何cm以上の高さの物体を検知するのか？	約30cm以上の物体が検知対象となりますが、取り付け、環境条件などにより、それよりも高いものが検知できなかったり、路面などの低いものを誤って検知する場合があります。
なぜ車両が動き始める前には静止物を検知できないのか？	バックアイカメラで撮影された映像の中の動きを分析して検知しているため、動きのない静止物は検知できません。
固定ガイド線が二重に表示されるのはなぜ？	本機の固定ガイド線とナビゲーション側の機能で表示されているガイド線の両方が表示されている可能性があります。 本機の固定ガイド線表示を優先させる場合はナビゲーション側のガイド線表示をOFFにしてください。
機能アイコンが表示されていない。	機能アイコンが表示されていない場合は、一旦エンジンスイッチをOFF (LOCK) にし、再度ACC、またはONにした後、機能アイコンが表示されるかをご確認ください。 それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ギアをリバースに入れても固定ガイド線や進行方向予測線が表示されない。	本機では、固定ガイド線や進行方向予測線の表示をON/OFFすることが可能です。 固定ガイド線や進行方向予測線の表示がOFF設定になっていないかご確認ください。 それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

外形寸法	158.6(mm) × 105.6(mm) × 29.3(mm)
質量 (重量)	約400g (BSG17本体)
電源電圧	DC13.2V (10.5-15.8V) アース専用
動作温度範囲	−20℃ ~ +65℃
保存温度範囲	−40℃ ~ +85℃
消費電流	最大 1.3A

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

アフターサービスについて

1. この商品には保証書を添付しております。
保証書は販売店でお受け取りの際、必ず、「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、同梱の保証書でご確認ください。
3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「Q&A」(→P.21)を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整で直ることがあります。
それでも調子が戻らないときは、下記をご確認の上、修理をお申しつけください。
 - ◆ 修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
 - ◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
※修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
 - ◆ 保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。
4. 出張による修理、点検は行っておりません。
5. この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後最低6年間保有しております。

製品の購入や組み合わせに関するお問い合わせ

販売店、または販売会社に連絡してください。

● 富士通テン販売株式会社

北海道支店	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目2番38号	(011)821-2221	北海道全域
北日本支社	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3丁目4番18号 (タカノボル第22ビル)	(022)256-2291	東北地区
関東支社	〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西4丁目18番1号	(048)859-2210	栃木、埼玉、群馬、茨城、新潟、長野
首都圏支社	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6420	東京、神奈川、千葉、山梨
中部支社	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8623	中部、北陸地区
関西支社	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7485	兵庫、大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
高松事務所	〒760-0078 高松市今里町1丁目28番13号	(087)863-7020	四国地区
西日本支社	〒815-0031 福岡市南区清水4丁目4番34号	(092)511-3210	九州全域、沖縄

修理に関するお問い合わせ

本機の修理は、販売店にて受け付けています。

保証期間中は、保証書に記載の保証規定にもとづいて無料で修理いたします。

商品に保証書を添えて申し込んでください。

- 保証期間は、同梱の保証書でご確認ください。
- 保証書は、販売店名や購入日の記載を確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間が過ぎている場合は、有料で修理をお引き受けしています。
- 出張による修理や点検は行っていません。
- この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後最低6年間保有しております。

ワンポイント

- 修理や点検の際にかかる本機の取り付け／取り外し費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。

メールでのお問い合わせ

お客様サポートページに記載されている注意事項を確認してから「お問い合わせフォーム」にアクセスし、必要事項を記入のうえ、送信してください。

- 「お客様サポート」 → 「お問合せ」
(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/inquiry/agree.html>)

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

富士通テン株式会社「お客様相談窓口」

通話料
無料

0120-022210

携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間 午前9:30～午後5:30(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

お客様サポート:製品情報や適合情報、ダウンロードサービスなどご利用になれます。

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号